

3月26日土曜日の朝、春一番の強風が吹き荒れる中、立山町元気交流ステーション「みらいぶ」にて、令和6年のオープンを目指している(仮称)防災センター・多目的ホール・児童館・新子育て支援センター複合施設をみんなで考えるワークショップの2回目を開催しました。参加者は、町内外のみなさんや事務局、運営スタッフも含め27名。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で約3カ月ぶりの開催となったこの日、まず設計チームから周辺機能との連携や棲み分け、施設機能や配置計画の説明を聞きました。その後、5グループに分かれ、「四季」や「一日」というお題に沿って施設での活動や過ごし方のアイデアを出し合い、グループごとに1つの物語をつくって朗読発表。BGMの流れる中、みんなで目を閉じて聴いていると、一つ一つのシーンが鮮やかに浮かんでくる感動的な発表会になりました！

## テーマ ふるまい&過ごし方の「物語」をつくろう！

### 1 設計チームより おはなし

スライドで周辺機能との連携・棲み分けを考える広域マップや、プロポーザル時に提案された施設配置計画、今後のスケジュールなどについてみんなで再確認しました。



### 2 グループワーク

季節や時間の移り変わりを意識しながら、誰が？どんな過ごし方できるといいかな？を出し合ったあと、手分けして全員でシナリオライティング！グループで1つの「物語」をつくりました。

#### 1 グループ「大家族物語」

**春：**春の陽気を感じる日曜、家族でサイクリングへ。まちなかを走っていると、見事な桜が目にとまり、休憩がてら広場で花見をしていくことに…。奥の建物では、遊びながら防災が学べるイベントが行われているようです。この建物では、1人で本を読んでいる人もいれば、カフェでお話している友達も見つけたので「来週はここで楽しもう！」とみんなで話しました。

**夏：**昼過ぎ、お父さんが子どもを連れて防災センターへ。子どもたちがプールで水遊びをしているあいだ、お父さんはビアガーデンでビールを飲んでます。そのあと、お母さんも合流して、盆踊りへ行きます。

**秋：**すみきたる青空の下、お母さんは大きな荷物を広げ、フリーマーケットに出店、おちびちゃんもお手伝い。そろそろ中学生のお兄ちゃんの音楽コンサートが始まります。会場では町内事業所の人達がお仕事紹介。大学生のお兄ちゃんが、ふらふらしながらもじっくり見えています。家族みんな笑顔です。



**冬：**寒い冬の中、そりやかまくら…家族で雪遊び。受験生のお兄ちゃんが勉強しています。大学2年生のお兄ちゃんは、成人式に参加します。

#### 2 グループ



**昼：**1才と4才の子どもたちは、児童館が大好き！ママも友達が増えたので、楽しみな時間だ。あいにくの雨だけど、室内で広々遊べるのがうれしい。初めての人に声をかけてみたら、「評判のいい施設と聞いて町外から来た」とのこと。晴れてきたので、芝生でシートを広げて、みんなで立山連峰を観ながら、立山町のおいしいおにぎりを食べて過ごした。

**夕：**小学校から帰宅した男の子たちは、広場や公園を広く使ってかかれんぼ。高校生の女の子は、保育士を目指して勉強中。この施設には親子が多いから子育て支援の体験ができて、よりリアルな勉強ができる。

**夜：**淡い光の中、お父さんが仕事帰りにジムで汗を流す。夕食が終わったお母さんと合流して、久しぶりの映画鑑賞とお酒。ゆっくりした時間を過ごす。家族みんな集まって星空を見る。楽しいみんなの一日。ずっとこんな時間が続けばいいな。

### 3グループ

## 笑いにぎわう 立山町

**朝**：みんなが、美しい「立山」を眺めて元気をもらい、あいさつをし合って、喜びを分かち合います。そして「今日も一日元気に過ごすぞ」と朝食を楽しみます。

**昼**：慌ただしい朝の時間が終わり、立山町ならではの静けさが辺りを包みます。電車の音と鳥の鳴き声。カフェでは若い女性が楽しそうに雑談し、そのそばを学校帰りの子どもたちが今日の出来事を笑い合っています。子どもを迎えに来たパパ・ママが、年代の違う新米パパ・ママと、子育てのことや来週開催されるフリーマーケットについて話しています。

**夕**：夕方になると、遊びを教えてくれる大人に、子ども達が集まります。役場の職員が仕事終わりに集まって、おしゃべりをしたり、若者が地域のことを話し合ったり、日が暮れてもここは賑わいが絶えません。

**夜**：いざという時を想定した炊き出しバーベキュー祭り。食べた後は、こどもたちを引き連れて、星空観察会。星が見えなくても大丈夫！ホールに簡易ベッドを並べて、天井に星空を映し出して観察。そして、そのままお泊り体験。いつの間にか、いざという時のシミュレーションと、人の輪が広がっています。

### 4グループ「多世代・家族が通年集う交流の場」

**春**：ピクニックがてら、多世代で町内の危険な場所を巡って、「ヒヤリマップ」作り。その後、お花見がてら、立山フォーラムで町内演奏家のコンサートを鑑賞。

**夏**：防災センターのクーラーを目指して集まろう！家族のつながりを強める涼しい一時。町内バンドを集めた夏フェスを家族で楽しむ。若者が山の危険と偉大さについて語り合う。あの谷、あの崖、あの山菜の丘、落ちそう滑りそう、あんなセーブ、こんな救助・・・話の尽きない夏の日。

**秋**：「食欲の秋」。働いているお母さんたちが、素敵なカフェで立山町のスイーツを食べながら情報交換、交流。食べたあとは、紅葉サイクリングでカロリー消費。娘のピアノの発表会で感動したいなー！

**冬**：散歩が好きな年老いた父は、冬はTVとこたつばかりだったが、新しくできた防災センターの「ワーキング」スペースに毎日お出かけ。今日は孫と「かまくら作り体験会」。夜は村の有志が集まって、冬の日本海の魚を語らう会がある。コロナも去ったし、久しぶりにみんなで飲もうかな。

#### アンケートより

1日の過ごし方を考えたことで、より鮮明な過ごし方のイメージがわきました／みんなで出し合ったバラバラの意見を1つにまとめると、こんなにもワクワクする物語に出会えるんだなあと感動しました／いろんな素敵な風景が広がって楽しかったです／新しい施設をハード面だけでなくソフト面から考えられる良い機会となった／みんなの思う方向性は似ていた など



#### 立山町役場 美しいまちづくり推進室 (中川、佐伯)

☎: 076-461-5671 (直通)

✉: suishin@town.tateyama.toyama.jp

### 5グループ「立山町に新しく住む ファミリーの物語」

**春**：休日を利用して、家族でお花見しながら防災センターの避難訓練に参加。横で開催していた入学イベントにも顔を出し、お昼は広場でシートを敷いてお弁当を食べて、一日過ごしました。

**夏**：夏休みには、子どもたちが宿題をしにやってきます。高校生ボランティアが宿題のお手伝いをしてくれます。休みの日は、ファミリーでキャンプ。観光客の方と出会い、立山の夏を楽しみます。

**秋**：気温も下がり、過ごしやすい季節になってきたので、家族でクリエイターズマルシェへ。ここでは、子どもたちが育てたさつま芋を使った焼き芋パーティーが開かれていて子どもたちが参加。親はカフェでゆったりと時間を過ごしました。

**冬**：雪の降る寒い日。ホールのイベントで地域の人と交流し、あたたかなひと時。ホールが空いた時間帯に雄山高校生もやってきて、異年齢の交わりも♡毎年恒例となったこども広場の「雪の祭典」!!素敵な立山町